



一般社団法人交通科学研究会

設立50周年
記念事業

より安全な道路交通を目指して

日時

2019年9月24日(火)
13:30~17:30

場所

ヴィアーレ大阪
(ホール/300名・エメラルド/80名)

参加無料

入場人数に限りがありますので、
事前申込の方を優先に、
当日は先着順とさせていただきます。
裏面の申込用紙にご記入の上
FAXにてお申し込みください。

ごあいさつ

国や地域で変わる 交通のかたちと安全を考える

2018年中の交通事故死者数は3,532人で1948年以降最少となりましたが、毎年1,700人程度が重度後遺障害者に認定されているとの報道もあり、依然、次のような視点からの対応が求められています。

- 高齢者の交通事故死者数は55.7%と高い水準にあり、歩行中のみならず高齢ドライバーの事故増加も懸念されており、免許返納も求められています。
- 人口集中都市に加えて、自動車利用の多い地方都市も事故多発ワースト上位を占めています。このことは、地域による公共交通サービス水準や生活環境の違いが影響していると考えられます。
- 近年では「インバウンド」の言葉に代表されるように、海外からの旅行者の増加が顕著で、一部ではレンタカーによる事故が増加しているといわれています。今後も、東京オリンピック、大阪・関西万博見学者や就労外国人の増加が想定され、我が国の道路交通への理解を急ぐ必要があります。

このような状況は50年前には想定されなかったことでもあり、今後も絶えず変化していくものと考えられます。そこで、本研究会の創立50周年を記念して、(一財)都市技術センターとの共催で以下の記念事業を開催することにしました。

Program プログラム

- 会長挨拶 篠原一光 氏(会長・大阪大学)
- 「交科研の50年を振り返って」 日野泰雄 氏(前会長・大阪市立大学)
- 特別講演
「外国人ドライバーから見た日本の道路交通」
菰田 潔 氏(モータージャーナリスト・日本自動車ジャーナリスト協会会長)
- 記念シンポジウム
 - 「地域の特性を踏まえた交通安全研究はなぜ必要か？」 蓮花一己 氏(帝塚山大学)
 - 「道路の地域性と事故リスク」 塩見康博 氏(立命館大学)
 - 「奈良県の高齢者横断事故の実態と原因」
東 正訓 氏(追手門学院大学)・山口直範 氏(大阪国際大学)
 - 「滋賀県の交通安全文化「飛び出し坊や」の実態調査」
小川圭一 氏(立命館大学)



事業体制

- 主催: (一社)交通科学研究会 ● 共催: (一財)都市技術センター
- 後援: (一財)大阪府交通安全協会、(一社)日本自動車連盟関西本部、(一社)日本損害保険協会、(一社)大阪自動車学校協会、(一社)京都府指定自動車教習所協会、(一社)全国道路標識・標示業協会 関西支部 大阪府協会、(一社)奈良県指定自動車学校協会、関西道路研究会

★お申込は裏面をご覧ください。

お問い合わせ

一般社団法人 交通科学研究会 事務局: TEL.06-6700-2355

大阪市平野区西脇1-1-2ミヤコ三愛ビル5階(株)FIT内 FAX.06-6700-2216 E-mail office@kokaken.or.jp WEBSITE QR ▶





一般社団法人交通科学研究会

設立50周年
記念事業

「より安全な道路交通を目指して」

日時

2019年9月24日(火)
13:30~17:30

場所

ヴィアーレ大阪
(ホール/300名・エメラルド/80名)

参加無料

入場人数に限りがありますので、
事前申込の方を優先に、
当日は先着順とさせていただきます。

参加申込用紙

(ふりがな)		申込日
参加者氏名		月 日
勤務先・所属		
所在地	〒 -	
連絡先	E-mail @	
	当日ご連絡出来る電話番号	
	FAX	
同席者		



●申込方法：上記の項目を明記し、E-mailまたはFAXでお申し込み下さい。

✉ office@kokaken.or.jp

FAX.06-6700-2216

●申込先：一般社団法人 交通科学研究会 事務局
大阪市平野区西脇1-1-2ミヤコ三愛ビル5階(株)FIT内
TEL.06-6700-2355
URL. <http://www.kokaken.or.jp>